

令和7年 第155回 9月定例会

一般質問

(14人中1番から7番)

順序	質問議員	質問項目
1	東垣 典雄	1. 稲作における渇水対策を問う。 2. 世界農業遺産「人と牛が共生する美方地域の伝統的但馬牛飼育システム」を農業、畜産、観光にどう生かすかを問う。
2	見塚 修	いのちとくらしを守り、住んでよかったと思えるまちづくりを求めて (Part 2) (資源を活かす) 1. 老朽公共施設の有効利用について伺う。 (いのちとくらしを守る) 2. 防犯カメラの増設について伺う。
3	藤井 昌彦	1. 米生産について 2. 有害鳥獣対策について 3. 畜産振興について 4. 子ども食堂について
4	松岡 大悟	1. 広域観光連携について問う。
5	山根 典明	1. FINE LINK PLUS の導入に関して 2. 職員利用する公用車の管理状況
6	山本 賢司	1. 村岡中央公民館（村岡区民センター）エリア再整備の区民会議を起こそう！ 2. 町農政で守るべきでは？
7	脇坂 英作	1. 買い物弱者を支える仕組みについて問う。

令和7年 第155回 9月定例会

一般質問

(14人中8番から14番)

順序	質問議員	質問項目
8	西谷 尚	1. 子どもの安全を守るための暑さ対策と通学通園支援について問う。 2. 一般家庭・高齢者の熱中症対策支援について問う。 3. 熱中症に対する企業支援について問う。
9	村田 行信	1. 第2次香美町総合計画の実施検証と次期計画への反映方針について
10	谷口 眞治	1. 物価高対策について問う。 2. 地球沸騰化対策について問う。 3. 若者支援・奨学金返済支援制度について問う。 4. 戦後80年の平和推進施策について問う。
11	田野 公大	1. 今後取り組まなければならない課題(Ⅲ) 集落の将来を考える。 2. 今後取り組まなければならない課題(Ⅳ) 地域おこし協力隊制度の活用を考える。
12	森浦 繁	1. 児童生徒の通学時における安全について伺う。 2. 村岡区学校再編の進捗と進め方について伺う。 3. 幼稚園・保育園・認定こども園の保育料、給食費について伺う。 4. 民間事業者の事業における町の関わりについて伺う。
13	伊藤 敦紀	1. 職員の定着と安心して働ける環境づくりについて
14	中村 崇志	1. 但馬牛 魅力発信のあり方について問う。 2. より安心・安全な教育環境の実現へ向け現状を問う。 3. 香住区山手の活性化と今後の方針について問う。

第 155 回 9 月定例会 一般質問の順序と要旨

発言議員： 東垣 典雄

No. 1 — 1

質問項目	質問事項	質問の相手
1. 稲作における渇水対策を問う。	今年の梅雨明けは早く、6月末から7月中は、まとまった雨が降らず、酷暑のうえに干ばつになり水路に水が乗らず渇水になった地域がみられた。 生コン車で水を運び水田に入れたり、耕作者の話し合いで順番に水を入れるなどの努力があり、ようやく実りの秋を迎えることが出来ています。 今、刈り取りの真っ最中ですが、酷暑、水不足による品質の低下が心配されます。 また、水不足の時ほど、水路の整備が必要と強く感じます。 今年の渇水対策の取り組みと、今後の水路の整備について伺う。 1. 今年の渇水対策を伺う。 2. コメの品質の低下が懸念されるが 3. 地球温暖化により、干ばつの自然現象が予想される。水田農業を未来に引き継ぐため農業生産基盤（水路など）の整備が必要と思われるが。 4. 令和元年度～令和3年度に「かんがい排水路、頭首工、ため池」など水利関係について、3年間に限り、補助率を55%から75%にアップしている。 今、水田農業の持続のため、農地の集約化をすすめるため、水利関係の補助率のアップを求める。	町 長

第 155 回 9 月定例会 一般質問の順序と要旨

発言議員： 東垣 典雄

No. 1 — 2

質問項目	質問事項	質問の相手
2. 世界農業遺産「人と牛が共生する美方地域の伝統的但馬牛飼育システム」を農業、畜産、観光にどう生かすかを問う。	世界農業遺産認定記念シンポジウムが令和 5 年 12 月 2 日（土）に開催され、2 回目となるシンポジウムが先日 8 月 22 日（金）～23 日（土）に開催された。 農業遺産を地域の農業、畜産、観光にどう生かすかを問う。 1. 小代区は「名牛の里」であり「日本で最も美しい村」でもあります。 暮らしと牛が近くにある農村風景をどう構築していこうとしているか問う。 2. 改築される小代物産館「但馬牛ミニ博物館」をどう充実するのか問う。 3. 堆肥の利用など耕畜連携の取り組みをどう発展させるか問う。	町 長

第 1 5 5 回 9 月定例会 一般質問の順序と要旨

発言議員： 見塚 修

No. 2

質問項目	質問事項	質問の相手
いのちとくらしを守り、住んでよかったと思えるまちづくりを求めて(Part 2) （資源を活かす） 1. 老朽公共施設の有効利用について伺う。	香美町公共施設等総合管理計画及び各個別施設計画において、再編（統合や廃止等）が検討された施設は安易に解体撤去されたり、又その計画がされてはいないか。再考の必要性を伺うものである。 最近では国や地方自治体の補助事業を活用し、起業・移住される人も増加しているのではないかと聞かれています。 町が再編の計画している施設を広く公開。情報提供し、前述の人達にも活用していただくことを検討してはどうか。 又最近では「D I Y」(Do it Yourself)と言われる方法で施設整備（改造）される方も増えていると聞く。 有効利用に向けての見直しを求める。	町 長
質問項目	質問事項	質問の相手
（いのちとくらしを守る） 2. 防犯カメラの増設について伺う。	8 月 20 日神戸市において刺殺事件が発生し、その 2 日後には容疑者が逮捕された。スピード逮捕には防犯カメラや県警と警視庁の連携の良さが言われている。 今回の事件を受け、住民の不安が高まっているとも言われている。 防犯カメラは犯罪予防や体感治安の向上が図られる役割がある。 神戸市では現 3,000 台の設置から 2 6 年度までに 5,400 台に増設する計画を立てている。 本町でも住民の「いのちとくらしを守る」ため、防犯カメラを増設しないか伺う。 （現在の区別設置数は）	町 長

第 155 回 9 月定例会 一般質問の順序と要旨

発言議員： 藤井 昌彦

No. 3

質問項目	質問事項	質問の相手
1. 米生産について	昨年来より、米不足、コメ価格の高騰などで、国は、米の増産を図る方針ときく。 ①町の米施策は	町 長
質問項目	質問事項	質問の相手
2. 有害鳥獣対策について	北海道、東北地方では熊による人身事故が多く報じられている。現在、野生動物との関わり方（駆除、共生）が課題となっている。以下の項目に対する現状（頭数、駆除数）と基本的考え方（駆除、共生）を伺う。 ①猿 ②鹿 ③イノシシ ④熊	町 長
質問項目	質問事項	質問の相手
3. 畜産振興について	世界に誇る但馬牛の原産地であるわが町の畜産農家は、昔の集落内での 1 頭飼いから、現在は多頭飼育で人里離れた場所に牛舎を立てざるを得ない。 豪雪地帯での除雪費用、牛舎の構造も雪に耐える構造が必要で経費が嵩む。 また、将来的な後継者不足の課題がある。 そこで ①道路除雪費の 1 割負担撤廃 ②牛舎の建設に手厚い支援を ③後継者育成	町 長
質問項目	質問事項	質問の相手
4. 子ども食堂について	有志で子ども食堂を開設運営している。 少子高齢化、人口減少下、子どもの居場所がなくなっている中、素晴らしい取り組みと考える。 ① 町としての捉え方を伺う。	町 長 教育長

第 155 回 9 月定例会 一般質問の順序と要旨

発言議員： 松岡 大悟

No. 4

質問項目	質問事項	質問の相手
1. 広域観光連携について問う。	複数の自治体が行政の境界を越えて連携し、点在する観光資源を有機的に結びつけることで、テーマ性のある広域的な観光ルートや観光圏を形成する広域観光連携。 観光を主幹産業の一つとする香美町も数年前から但馬の市町、麒麟のまち観光局、山陰海岸ジオパーク推進協議会等と広域的に観光連携を進めています。 広域的な観光連携は、香美町の観光産業を持続的に発展させるという目的を達成するための方法として、重要な政策だとも感じています。 そこで以下の質問です。 (1) 現在まで広域観光連携を進めてきた事で観光産業にどの程度プラスの影響があったのか。 (2) 今後、他の枠組みでの広域観光連携を考えているのか。 (3) 香美町として広域観光連携最大のメリットはどこだと考えているのか。 町長の所見を伺います。	町 長

第155回 9月定例会 一般質問の順序と要旨

発言議員： 山根 典明

No.5

質問項目	質問事項	質問の相手
1. FINE LINK PLUS の導入に関して	①本年度5月から導入し、デイサービス 介護タクシー手配 医療機関等の連携など大変ありがたいサービスですが、まだ導入して間なしですが、導入実績をお伺いしたい。 ② 宣伝方法はどうされていますか？ (山形県鶴岡市では「かんたんマニュアル」を導入) ③ 今後の方向性はどう考えていますか？ ④お年寄りが活用するためのツールが必要では？ ⑤村岡から香住（病院・職安など） 村岡から豊岡（病院）バスの本数の関係で長時間を要するため、介護タクシーの手配が簡単に出来るなら喜んで使われると思いますか？	町 長
質問項目	質問事項	質問の相手
2. 職員利用する公用車の管理状況	①ドライブレコーダー・ナビゲーションシステム・バックモニターの設置はされていますか？ ② 運行管理簿の設置・遵守は？ ③アルコールチェック機器の設置・遵守は？ 昨今、日本郵便の管理体制が不十分で国交省から厳しい行政処分が下されました。各民間企業もこれに習って各社が上記の事項を遵守すべく総務課から通達があり、定期的に監査し且つ、ドライブレコーダーの作動確認報告も随時必要となっています。 事故は決してあってはならない事ですが、身を守る対策をとっていることが無事故への第一歩では？	町 長

第 1 5 5 回 9 月定例会 一般質問の順序と要旨

発言議員： 山本 賢司

No. 6

質問項目	質問事項	質問の相手
1. 村岡中央公民館（村岡区民センター）エリア再整備の区民会議を起こそう！	村岡区地域協議会の元に利用者、区民による区民会議を起こそう。 ・ E V 設置 ・ 図書室充実 ・ 展示スペース確保 ・ 調理室充実 など 利用者の要望をふまえた計画を	町 長
質問項目	質問事項	質問の相手
2. 町農政で守るべきでは？	① 中山間地域等直接支払制度第 6 期から見えたものは何か。 ② 農業者の維持、拡大と親元就農者支援を ③ 水路維持整備声援策を ④ 規模拡大、農地中間管理機構でどこまで対応可と見るのか。	町 長

第 155 回 9 月定例会 一般質問の順序と要旨

発言議員： 脇坂 英作

No. 7 — 1

質問項目	質問事項	質問の相手
1. 買い物弱者を支える仕組みについて問う。	本町では人口減少と少子高齢化が進み、生活必需品を扱う販売店の減少や免許返納等により、買い物弱者の問題が拡大しており、高齢者や免許を返納された方にとって、たとえバスで移動できても、売り場を歩き回り、荷物を持ち帰ること自体が大きな負担となっています。 このため、自宅周辺に来てくれる移動販売車の意義は大きく、既に町内でも移動販売が多く、住民生活を支えています。 しかし、販売ルートに含まれていない地区も多く、さらにガソリン価格の上昇は販売価格に影響し、利用者負担の上昇が運行縮小につながるおそれがあります。 そこで、移動販売に係る持続可能な支援策の提案にあたり、以下の点を伺います。 ①本町における買い物弱者や免許返納後の生活課題について、町はどのように捉えているか。 ②現在、町内で行われている移動販売について、住民生活への効果や今後の可能性をどのように考えているか。	町 長

第 1 5 5 回 9 月定例会 一般質問の順序と要旨

発言議員： 脇坂 英作

No. 7 － 2

質問項目	質問事項	質問の 相 手
〃	③ 人口の少ない地区では採算性の問題から販売車の運行が難しく、さらにガソリン価格の上昇が利用者負担や運行継続に影響している。この現状を町はどのように捉えているか。	町 長
質問項目	質問事項	質問の 相 手
〃	④例えば買い物弱者を支える仕組みとして、道路使用許可書の写しの提出や上限金額・一事業者一台の制限を設けることで公平性と透明性を担保しながら、移動販売車に係るガソリン代補助を行うことが考えられる。こうした制度により、人口の少ない地区にも運行が可能となり、利用者負担の軽減にもつながると考えるが、町の見解を伺う。	町 長

第 155 回 9 月定例会 一般質問の順序と要旨

発言議員： 西谷 尚

No. 8

質問項目	質問事項	質問の相手
1. 子どもの安全を守るための暑さ対策と通学通園支援について問う。	(1) 子供の暑さ対策の取り組みについて ①登下校時の熱中症予防対策の取り組みは出来ているのか。 ②学校・園内における対応は十分に出来ているのか。 ③保護者や地域との連携した取り組みや情報共有は出来ているのか。 (2) 体の弱い子供の対応について	教育長
質問項目	質問事項	質問の相手
2. 一般家庭・高齢者の熱中症対策支援について問う。	(1) 熱中症対策の取り組みが出来ているのか。 ①エアコン設置に関する補助は考えなかったのか。 ②電気代高騰対策的なものはなぜ行わないのか。	町 長
質問項目	質問事項	質問の相手
3. 熱中症に対する企業支援について問う。	(1) 町内事業者に対しての支援について ①行政側ができる支援はないのか。	町 長

第 155 回 9 月定例会 一般質問の順序と要旨

発言議員： 村田 行信

No. 9

質問項目	質問事項	質問の相手
1. 第 2 次香美町総合計画の実施検証と次期計画への反映方針について	令和 7 年度で最終年度を迎える「第 2 次香美町総合計画」。総合計画は、町の将来像や施策の方向性を示す最も根本的な指針であり、行政運営だけでなく、町外に向けたメッセージとしても重要な意味を持つものです。 とりわけ、香美町への移住を検討する方や帰郷を考える若者層にとっては、「町がどこに向かおうとしているのか」を知る重要な情報でもあります。 現在は「第 3 次香美町総合計画」の策定作業が進行中であり、まさに今、これからの 10 年を形づくる重要な時期にあります。 そこで今回の一般質問では、 「これまでの計画がどうであったのか」 「これからの計画を誰が、どうやって作っているのか」 という視点から、香美町のまちづくりの方針を町民と共有し、自治のあり方をともに考える起点としたいと考えています。 (1) 第 1 次・第 2 次総合計画を通じて、町としてどのような成果と課題を認識しているか？ → 明確に、「実現できたこと」と「実現が困難だったこと」をそれぞれお示しください。 (2) 現在策定中の第 3 次総合計画について、策定体制・スケジュール・関係者構成はどうなっているか？ → 誰が、どのような役割で関与しているのか、町民や議会との関わりも含めて具体的に伺います。 (3) 第 3 次総合計画において、町長ご自身はどのような方針・未来像を描いておられるのか？ → 現在の策定プロセスにおいて、町長として何を重視し、どのような思いで臨んでいるのか、町民にも分かる言葉でご説明ください。	町 長

第 155 回 9 月定例会 一般質問の順序と要旨

発言議員： 谷口 眞治

No.10-1

質問項目	質問事項	質問の相手
1. 物価高対策について問う。	依然として物価高は続いている。7月の全国消費者物価指数は、物価変動の大きい生鮮食品を除く総合指数が 111.6 と前年同月比 3.1%上昇した。プラス上昇は 47 か月連続。香美町は、物価高対策（町民一人 1 万円の商品券配布）を令和 6 年度予算で実施し、商品券の 7 月末期限分を令和 7 年度予算に繰越明許しているが、商品券配布事業の実績と効果を伺う。令和 7 年度も物価高対策として年内に、令和 6 年度と同じ「町民一人 1 万円の商品券配布」が必要ではないか。	町 長
質問項目	質問事項	質問の相手
2. 地球沸騰化対策について問う。	40 度を超える記録的な高温が続き「7月の月平均気温が統計開始以降最も高く、降水量が記録的に少ない」と気象庁が発表している。 (1) 農作物の高温被害対策について 気温や降水、日射などに依存する農業は気候変動に強い影響を受ける。降水が少なく、農作物の高温・渇水対策が必要ではないか。 (2) 熱中症対策について 記録的な高温で香美町でも熱中症患者が多く発生しているのではないか。熱中症対策として、高齢者・障害者のエアコンの買換えを含む購入や電気代の助成が必要ではないか。	町 長

第 155 回 9 月定例会 一般質問の順序と要旨

発言議員： 谷口 眞治

No.10-2

質問項目	質問事項	質問の相手
3. 若者支援・奨学金返済支援制度について問う。	学生の3人に1人が平均300万円の奨学金の借金を背負って社会に出ているといわれている。若者の奨学金返済支援が必要ではないか。県に奨学金返済の支援制度があるが、町としても支援制度を充実すべきではないか。	町 長
質問項目	質問事項	質問の相手
4. 戦後80年の平和推進施策について問う。	(1) 戦没者追悼式について 戦後80年の節目の今年の戦没者追悼式と平和を考えるつどいは、どんな取り組みを計画しているのか。 (2) 「非核・平和のまち宣言」の懸垂幕について 「非核・平和のまち宣言」の啓蒙普及の推進のために本庁舎と各地域局に懸垂幕を設置すべきではないか。 (3) 平和学習（修学旅行）旅費の全額補助について 平和を若い世代につなぐため、平和学習の旅費を全額補助すべきではないか。	町 長 教育長

第155回 9月定例会 一般質問の順序と要旨

発言議員： 田野 公大

No. 1 1

質問項目	質問事項	質問の相手
1. 今後取り組まなければならない課題（Ⅲ） 集落の将来を考える。	少子高齢化と集落人口減少が著しい現状にあつて、その機能の低下と担い手不足などにより集落運営の維持・活性化が困難な状況となっています。そのような状況は、今後益々顕著となることが容易に予想されます。それらを鑑み町と集落との関係や、集落に対する支援の在り方も考え直さなければならないと思います。この課題についての町の考え方を伺います。 ①兵庫県 企画部 地域振興課は（集落の将来を考えるサポートツール「持続可能な地域づくり」に向けて-）というツールを公開しています。まさにこのサポートツールに沿った取り組みが必要と考えますが、町はこれらをどのように捉えているか。また取り組む考え等はあるか。 ②また、このような課題に専門に取り組む部署またはPT（プロジェクトチーム）の設置等、組織化する考えはあるか。	町 長
質問項目	質問事項	質問の相手
2. 今後取り組まなければならない課題（Ⅳ） 地域おこし協力隊制度の活用を考える。	1. の質問で示した課題の取り組みに対して、現行の地域おこし協力隊制度の活用は大変有効であると考えます。本町もすでに本制度の活用は進行中ですが、最近この制度もより地域住民との「連携・協力の深化」が重視されるようになっていきます。町の考えを問います。 ①地域住民との「連携・協力の深化」等に対してどのように考え、取り組むか。 ②町と集落との関係の中で集落への配置や例えばデジタルディバイド対策などで活躍してもらうなど。それらに限らず。町職員と住民との中間的存在として隊員を配置する考えはあるか。	町 長

第 155 回 9 月定例会 一般質問の順序と要旨

発言議員： 森浦 繁

No. 1 2—1

質問項目	質問事項	質問の相手
1. 児童生徒の通学時における安全について伺う。	今年の夏は、異常とも言える暑さで、この暑さが 10 月頃まで続くと予想されています。長距離を徒歩で通学する児童生徒にとってこの暑さの中、熱中症対策など保護者の心配も大きいのではないかと。 また、通学路において獣害の心配や交通量の多い箇所を通学する児童もあると聞く。そこで、保護者などから通学に関する要望はないか。また、100%全部の地区の対応は、いきなりは、無理でも、安全な対応ができるところから改善するつもりはないか伺う。	教育長
質問項目	質問事項	質問の相手
2. 村岡区学校再編の進捗と進め方について伺う	現在、村岡区では、学校再編の議論が進められていると聞いている。現時点で委員からどのような意見が出ているか、当局からの調整案を始めから示すのではなく、各団体の代表が出し合った意見の中から取捨選択し、意見が出ず、当局に提案を求められた場合にのみ調整案を示し、その後に持ち帰り検討といった正常なプロセスで議論されているか、議論の方法について、伺う。	教育長

第 1 5 5 回 9 月定例会 一般質問の順序と要旨

発言議員： 森浦 繁

No. 1 2 — 2

質問項目	質問事項	質問の相手
3. 幼稚園・保育園・認定こども園の保育料、給食費について伺う。	幼稚園・認定こども園 3 歳以上児（1 号認定）は幼稚園の給食費は、0 円。認定こども園は給食費のうち、副食費 0 円。主食費については、保護者負担（白米代の納付）。保育所・認定こども園 3 歳以上児（2 号認定）は給食費のうち、副食費 0 円。主食費については、保護者負担（白飯持参、または白米代納付）となっています。保育所・認定こども園 3 歳未満児（3 号認定）は保育料の利用者負担となります。物価高騰のなか主食費を白飯持参、白米代納付をなし、保育料の軽減について伺う。	町 長
質問項目	質問事項	質問の相手
4. 民間事業者の事業における町の関わりについて伺う。	この春町内の事業者宛に町の封筒を使い町長の顔写真入りで広告募集の依頼が送られてきたと聞く。町民生活の利便を謳う内容の刊行物に対する広告募集であったが、非常に高価な広告枠であったようです。この刊行物に対する町の関わりは、適切と考えられるか？適切であるというなら例えば香美町への観光誘客や町民生活に直結する事業であれば、同様に封書の使用町長の顔写真入りの募集パンフレット作成ができるのか伺う。	町 長

第 155 回 9 月定例会 一般質問の順序と要旨

発言議員： 伊藤 敦紀

No. 1 3

質問項目	質問事項	質問の相手
1. 職員の定着と安心して働ける環境づくりについて	町政運営を支えるのは「人」であり、職員一人ひとりが能力を発揮できる環境を整えることは、住民サービスの質を高める上で欠かせない。近年はどの自治体においても、人材の確保・育成・定着が大きな課題となっている。本町においても、人材育成基本方針の見直しや、本年 4 月には総務課に「人材育成推進室」を設置するなどの取組が進められている。 一方で、職員の早期退職や病気休暇の取得が見られる現状もあり、職員が安心して働ける環境づくりに向けて検討すべき課題があると感じている。そこで以下について伺う。 (1) 職員の採用や育成を進め、定着を図る上で信頼関係が不可欠であることを踏まえ、町長が職員との信頼関係を築くために行っている具体的な取り組みにはどのようなものがあるか。また、幹部職員と職員の間においてはどのように取り組まれているか。 (2) 町長と職員、幹部職員と職員の間における日常的なコミュニケーションをどのように評価しているか。 (3) 職員が安心して働ける環境づくりの観点から、メンタルヘルス対策と病気休暇からの復職支援について、現状と今後の取組をどのようにお考えか。	町 長

第 1 5 5 回 9 月定例会 一般質問の順序と要旨

発言議員： 中村 崇志

No. 1 4

質問項目	質問事項	質問の相手
1. 但馬牛 魅力発信のあり方について問う。	① 但馬牛の魅力を観光客等へ認知してもらうために現状どのような方法や媒体を利用して発信しているのか伺う。 ② ①の効果や実績を伺う。 ③ 但馬牛は名称の通り兵庫県北部の共通ブランドである。本町単独ではなく他市町と連携して観光客・町外への情報提供が十分に出来ているか伺う。	町 長
質問項目	質問事項	質問の相手
2. より安心・安全な教育環境の実現に向け現状を問う。	7 月初旬、全国的に話題となった、名古屋市 の 小学生・中学生の教員ら 1 0 人ほどが SNS グループチャットを作り、児童・生徒を盗撮し情報交換をするという悪質な事件が発覚した。 ① 本町外の事件ではあるが、なぜこのような事が起きてしまうのか、原因等あるのか教育長の所見を伺う。 ② 事件発覚後、本町の対応を伺う。	教育長
質問項目	質問事項	質問の相手
3. 香住区山手の活性化と今後の方針について問う。	① 本町役場が所有している区画が 5 0 区画あるが今後の活用計画や方針を伺う。 ② 町内外問わず、区画の購入目的で問い合わせはあるか伺う。	町 長